

研究	I. 総合研究報告 世界の健康危機への備えと対応の強化に関する我が国並びに世界の戦略的・効果的な介入に関する研究 詫摩佳代
	II. 分担研究報告 1. 感染症関連国際文書の交渉プロセス・法整備・法運用の考察と検証 鈴木淳一 2. パンデミック対応に関わる国際ガバナンスの構造的検討——国際保健規則改正、WHOパンデミック協定、及び実装ガバナンスとしての病原体データベース・ガバナンスを横断する3年間の研究 武見綾子 3. パンデミック協定における知的財産・技術移転・アクセスと利益配分の取決めにに関する研究 中山一郎 4. パンデミックの予防、備え及び対応に関する国際保健法の発展と課題に関する研究 西本健太郎 5. 条約（案）に記載される項目に関する各国の準備態勢の検討 藤田雅美 6. WHOの「パンデミック協定（仮称）」におけるパンデミックを引き起こす可能性のある病原体とその配列データをめぐるABS（PABS）の交渉過程と課題の分析 松尾真紀子
	III. 研究成果の刊行に関する一覧表

